



日本代表の不動のレギュラー、井手口陽介選手 独占インタビュー!

井手口 陽介

Yosuke
Ideguchi

井手口陽介さんは追手門学院高等学校63期で、現在、ガンバ大阪で守備的ミッドフィルダーとしてご活躍です。日本代表でも、ロシアワールドカップ出場を決めたオーストラリア戦で、勝利を決定づける豪快なミドルシュートを決めました。今日は、翌日からフランスで行なわれる日本代表合宿に出発する直前の貴重な時間を割いて、山桜会のためにお話しくださいました。

まず、ワールドカップ出場を決めて、今のお気持ちは?

ワールドカップは小さいときからの一番の目標でした。ただ、今はひとつの通過点だと思っています。あまり先のことは考えすぎず、とにかく毎回、代表に呼ばれるたびに結果を出し続けていくことが大切だと思っています。そうしないと、継続的に代表に呼ばれなくなるからです。

オフの日はどのように過ごすのですか?

家にいるということはほとんどなくて、たいてい出かけています。二日連続での休みがあれば、妻と子どもをつれて、大阪を離れることが多いです。食べるのが好きなので、食べ物のおいしい場所に出かけています。

高校在学中のことで、特に印象に残っていることはありますか?

文化祭とか、体育祭などのイベントよりも、むしろ、普通の授業や学校生活のことをよく覚えています。生活習慣などについて厳しい指導を受けましたが、今から振り返れば、人としての振る舞いを教えてもらい、しっかりした考え方を身につけることができました。追手門に行って本当によかったと思っています。

井手口さんは、最近結婚されて、お子さんも生まれて、日本代表に選ばれて、劇的なゴールも決めて、一気に日本中が注目する若手ナンバーワンの選手になったと思うのですが、今後の目標を教えてください。

ずっと代表に呼ばれて、ただ呼ばれるだけでなく毎試合得点やチャンスに絡んでいきたいと思っています。もちろん、



海外移籍にも興味がありますが、ただ海外に行くだけじゃなく、10年とか、長い期間、海外で活躍し続けられる選手になりたいと思っています。

最後に、追手門学院の在學生の中には、一生懸命にサッカーをやっている少年・少女も少なくないと思います。そんな後輩たちに、何かアドバイスを。

ただ「がんばるぞ!」「練習するぞ!」ではなく、楽しみながらサッカーを続けてほしいと思います。遊び感覚で楽しみながらやっていたら、自然とまたサッカーをやりたくなるはず。リラックスできて、上達も早いと思います。

サッカーをしていない後輩たちにも一言。

何をやるにしても、オンとオフのメリハリが大切です。遊ぶときは遊ぶ、勉強するときはする。それから、先生たちに厳しいことを言われて、うるさく感じているかもしれませんが、大人になって、大切なことを学んでいたんだなあ気がつくときが来ます。今を大切にしてほしいと思います。



©GAMBAOSAKA